

## 仮定法 I wish～



You don't do your homework.

I wish you **did** your homework.

### Point

①ある事実に対して、「～たら（なら）**いいのに**」と言うことを表すときには、日本語の「～**たらいいのに**」と同じ感覚で、次のように表します。

**I wish + 主語 + 動詞の過去形 (...)**

②事実表現では動詞（助動詞）の時制が現在なら、一つ前の時間の**過去形**にします。**過去形**にすることで、現実とは異なっていることを表しています。

③動詞を過去形にしますが、「be動詞」はすべて「**were**」にします。事実表現が「am、is」でも「were」です。ただし、口語では「was」も使われます。

1. 事実の英文を読み、「～だったら」という文になるように( )内の適する語を書きましょう。

(1) I live in Japan. I wish I ( ) in America.

私は日本に住んでいます。アメリカに住んでいたらいいのに。

(2) I can't speak English well. I wish I ( ) speak English well.

私は英語がうまく話すことができません。英語がうまく話せたらいいのに。

(3) There is not a movie theater in this town.

I ( ) there ( ) a movie theater in this town.

この町には映画館はありません。この町に映画館があったらいいのに。

2. 日本語に合う表現になるように( )内の語を並べ替えよう。

(1) ( I / I / play / could / wish / the guitar ) . 私がギターを弾けたらいいのに。

.....  
.....

(2) ( spoke / wish / we / the same language / I ) . 僕たちが同じ言葉を話していたらいいのに。

.....  
.....

(3) ( wish / were / I / sunny / today / it ) . 今日、晴れていればいいのに。

.....  
.....

(4) ( wish / go back to / I / yesterday / I / could ) . 昨日に戻れたらいいのに。

.....  
.....

(5) ( any tests / didn't / I / wish / have / I ) . テストなんてなければいいのに。

.....  
.....